授業科目名	航空宇宙セミナー Aerospace Seminar	大学名	帝京大学
科目区分	VU 連携講座	開講時期	2016 年度後期
学部・学科等	理工学部　航空宇宙工学科	曜日	未定（2015 年度は金曜 3 時限、2 回分木曜 4 時限、特別講演会木曜 18～20 時）
必修・選択区分	専門選択	時限（時間）	未定（90 分）
標準対象年次	3 年生	授業形態	担当教員によって異なる（講義、討論）
単位数	2 単位	授業会場	帝京大学
担当教員名	航空宇宙工学科の全教員、2 回分外部講師		
電話番号（代表者名）	028-627-7240	e-mail アドレス	nabetake@ase.teikyo-u.ac.jp
オフィスアワー	（未定、2015 年度は金曜 2 時限）		
授業の概要	〈授業の目標及びねらい〉 （1）航空宇宙に関係する教材（インターネット、DVD、ビデオ等）から話題を選定し、討論によりその内容の理解を深める。 （2）教員の航空宇宙や工学一般に対する経験、会社側から見た望ましい人物像等を紹介し、質疑によりその内容の理解を深める。 （3）上記の討論、質疑応答を通して学生の討論能力の向上を図る。 〈前提とする知識・経験〉 航空宇宙工学に関係する事項に興味を持っていることが必要である。 〈授業の具体的な進め方〉 オムニバス方式（毎週担当教員と話題が変わる）で、討議を重視し、授業を進める。 〈授業計画〉 現段階では未定、大部分は 2015 年度に準じる。参考までに 2015 年度の授業のタイトルと担当者を示す。 第 1 週　人力飛行に学ぶ（航空宇宙工学科　渡部武夫 講師） 第 2 週　模型航空機と飛行力学（航空宇宙工学科　芳谷直治 教授） 第 3 週　ジェットエンジンにおける表面処理（航空宇宙工学科　山田　智 准教授） 第 4 週　航空機の安全運航（航空宇宙工学科　畝本宜尹 教授） 第 5 週　無人航空機の過去、現在、未来　（航空宇宙工学科） 第 6 週　ヘリコプター開発の歴史（航空宇宙工学科　平本　隆 教授） 第 11 週　TASK　航空宇宙講演会　（東京大学　中須賀真一教授） 第 8 週 航空宇宙分野における CFD（計算流体力学）の基礎と応用 （JAXA 航空本部、曽根秀昭氏　青山剛史氏　松尾裕一氏） 第 9 週　恒星，惑星，彗星，流星，衛星（航空宇宙工学科　橋本敬三教授） 第 10 週　極低温技術と航空宇宙工学（航空宇宙工学科　大森隆夫 教授） 第 11 週　身近になった宇宙利用（航空宇宙工学科　久保田弘敏 教授） 第 12 週　ヘリコプターの運用について（航空宇宙工学科　倉増和治） 第 13 週　宇宙機の不具合事例（航空宇宙工学科　高橋綾香　研究員） 第 14 週　再現可能な大気圏突入システムの実現に向けて（航空宇宙工学科 河村政昭　講師） 第 15 週　スペースデブリ（航空宇宙工学科　中島俊　教授） 〈教科書・参考書・教材と入手方法〉 使用しない。必要に応じて配布する。 〈成績評価法〉 出席状況、話題に対する討論、リポートの内容で評価します.		